



共栄小だより

〈年度の重点〉

「主体的に学び、共に考え、やり抜く子どもの育成」

旭川市立共栄小学校 学校通信 令和5年度 第2号 令和5年4月28日



順調なスタートをきりました

旭川市立共栄小学校長 鎌田 昌記

ようやく訪れた春も、このところの寒さ続きで少々足踏みをしているようですが、校舎前のエゾムラサキツツジも開花し、確実に初夏が近づいていることを感じさせる頃となりました。

新年度がスタートし、まもなく1ヶ月が経とうとしていますが、共栄小の教育活動は順調な滑り出しを見せています。朝には「おはようございます！」の元気な声が玄関いっぱいに響き渡るとともに6年生が新1年生を優しく迎える微笑ましい光景も見られ、とても爽やかな一日が始まります。（入学式や始業式で子どもたちに話をした「あいさつ1番 共栄っ子」が実践されていることを嬉しく思っています。）授業中は、元気よく手を挙げ発言したり、クラスメイトと楽しそうに意見を交流したりと、学習に一生懸命取り組む姿があちこちの教室で見られます。中休みには、楽しそうな笑い声や満面の笑顔が、教室や廊下、そして外のふれあい広場やグラウンドなどにもあふれています。

そして、そうした子どもたちの傍らには、温かく見守ったり声をかけたり触れ合ったりする教職員の姿が常にあります。

新たなスタートにあたり、やる気に満ちた子どもたちの今の気持ちを持続させることができるよう、教職員一同尽力して参ります。そのためには「子どもの健やかな成長を願う」という共通目標の下での保護者や地域の皆様との連携が欠かせません。当たり前のことながら、子どもは家庭や学校のみならず、関わる全ての人々や地域社会によって育てられます。子どもたちが安心して楽しく学校生活が過ごせるよう、本校教育活動へのご理解と御協力をお願いいたします。

生活委員による朝のあいさつ運動



朝の1年生玄関
6年生が優しく出迎えます



生活委員による
朝のあいさつ運動

5月8日は共栄小学校の37回目の誕生日

5月8日（月）は開校記念日、本校が開校して37年目を迎えます。

旭川第三小学校の児童数の急増に伴い、新たな学校が必要となったことから共栄地区に新校舎が建設され、昭和62（1987）年に開校しました。

集中暖房や各階廊下の多目的スペース（現在のなかよしホール）や採光のための光庭、階段の踊り場にステンドグラスを設けるなど、当時としては最新鋭の設備を備え、開校当時は多くの学校関係者が視察に訪れたそうです。開校当初の児童数は415名。以来、この3月までに2,210名の子どもたちがこの学び舎を巣立っていきました。

時が変わろうとも、本校の教育目標の3本柱である「よく考え、工夫する人～かしくく」「思いやりがあり、助け合う人～やさしく」「体をきたえ、やりぬく人～元気よく」の精神は、子どもたちや教職員の間に脈々と受け継がれています。共栄小のますますの発展に向け、保護者や地域の皆様とともにこれからも歩んでいきたいと思っております。



昭和61年 建設途中の校舎
周囲には水田が広がっていました